

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)

資料2

1. 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)の活用

<交付金の趣旨>

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しする。

<対象事業>

- ①ソフト事業：観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援（移住・起業・就業型及びプロフェッショナル人材型の対象事業を除く）。
- ②拠点整備事業：観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。
- ③インフラ整備事業：ソフト事業又は拠点整備事業と組み合わせて実施されるインフラの整備を支援。

2. 草津市における「新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	予算額(千円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容 (※事業内容は令和7年度の内容)	総合戦略における事業 の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)	
						指標	目標値
1	(1)事業名 「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方 創生拠点整備事業 (2)担当課 まちづくり協働課 (3)計画期間 令和7年度～令和8年度	令和7年度 200,860千円	令和7年度 【交付金】 100,430千円 【補助率】 1/2	<p>【事業概要】 山田まちづくりセンターを新築し、地域の人口を維持するとともに、コミュニティビジネスによる収入やまちづくりセンター利用者数を増加し、まちづくり協議会の自立性を促すもの。</p> <p>【事業内容】 • 山田まちづくりセンターの整備を行う。（大会議室、多目的室、調理室①、調理室②（食品営業許可付き調理室）、交流サロン、チャイルドコーナー、スタディコーナー、事務室 他） • 従来の山田まちづくりセンターは477m²、新たに建築する山田まちづくりセンターは629m²と従来の1.3倍の大きさであり、地域コミュニティの希薄化を解消するための工夫として、交流サロン面積を約7倍（約20m²から約139m²）に広げ、また、子育て支援環境の充実の観点から、新たにチャイルドコーナーやスタディコーナーを設ける。 • 学区の特色である農産物の加工場所として、一般的な調理室の他、食品営業許可付き調理室を設けることでコミュニティビジネスの機会を創出する。 </p>	【戦略目標】 地域の支え合い推進プロジェクト	①地域の人口・世帯数 (山田学区の人口・世帯数) <u>R6実績：7,772人</u>	R7 -5人 (7,767人) R8 -29人 (7,738人) R9 +63人 (7,801人) R10 +7人 (7,808人) R11 -14人 (7,794人) R12 -33人 (7,761人)
						②コミュニケーションによる収入増 <u>R6実績：0円</u>	R7 0円 R8 0円 R9 +200千円 (200千円) R10 +30千円 (230千円) R11 +30千円 (260千円) R12 +30千円 (290千円)
						③山田まちづくりセンターの 利用者数 <u>R6実績：11,678人</u>	R7 +2人 (11,680人) R8 +10人 (11,690人) R9 +310人 (12,000人) R10 +300人 (12,300人) R11 +400人 (12,700人) R12 +400人 (13,100人)
2	(1)事業名 「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業 (2)担当課 まちづくり協働課 (3)計画期間 令和7年度～令和8年度	令和7年度 204,010千円	令和7年度 【交付金】 102,005千円 【補助率】 1/2	<p>【事業概要】 矢倉まちづくりセンターを新築し、矢倉学区を代表する地域資源の活用や立命館大学などとの協働を通じて、センターの利用者やセンターにおけるイベント参加者の増加を図ることで、地域コミュニティの活性化ひいては矢倉学区の人口の増加を図る。</p> <p>【事業内容】 • 矢倉まちづくりセンターの整備を行う。（大会議室、和室、調理室、キッズルーム兼食堂、工作・陶芸室、オープンスペース、事務室 他） • 従来の矢倉まちづくりセンターは471m²、新たに建築する矢倉まちづくりセンターは630m²と従来の1.3倍の大きさであり、地域コミュニティの希薄化を解消するための工夫として、オープンスペースを4.5倍（22m²から約101m²）に広げ、また、子育て支援環境の充実の観点から、新たにキッズルーム等を設ける。 </p>	【戦略目標】 地域の支え合い推進プロジェクト	①矢倉学区の人口 (年間約70人ずつ人口が減少する想定し、年間の減少数が毎年10人ずつ良化に転じる) <u>R6実績：前年度比-72人 (9,610人)</u>	R7 0人 (-70人) R8 0人 (-70人) R9 +10人 (-60人) R10 +10人 (-50人) R11 +10人 (-40人) R12 +10人 (-30人)
						②センターの利用者 <u>R6実績：14,568人</u>	R7 0人 (14,568人) R8 +300人 (14,868人) R9 +500人 (15,368人) R10 +300人 (15,668人) R11 +300人 (15,968人) R12 +300人 (16,268人)
						③センターにおけるイベント 参加者 <u>R6実績：1,460人</u>	R7 +0人 (1,460人) R8 +50人 (1,510人) R9 +80人 (1,590人) R10 +50人 (1,640人) R11 +50人 (1,690人) R12 +50人 (1,740人)



※令和8年度に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、令和7年度事業終了後の重要業績評価(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただきます。